

施策名：公費負担医療制度等のオンライン資格確認の推進

① 施策の目的

マイナンバーカード1枚で公費負担医療等(公費負担医療、地方単独医療費助成)を受けることができる環境を早期に整え、マイナンバーカードの普及促進、国民の利便性向上を図る。

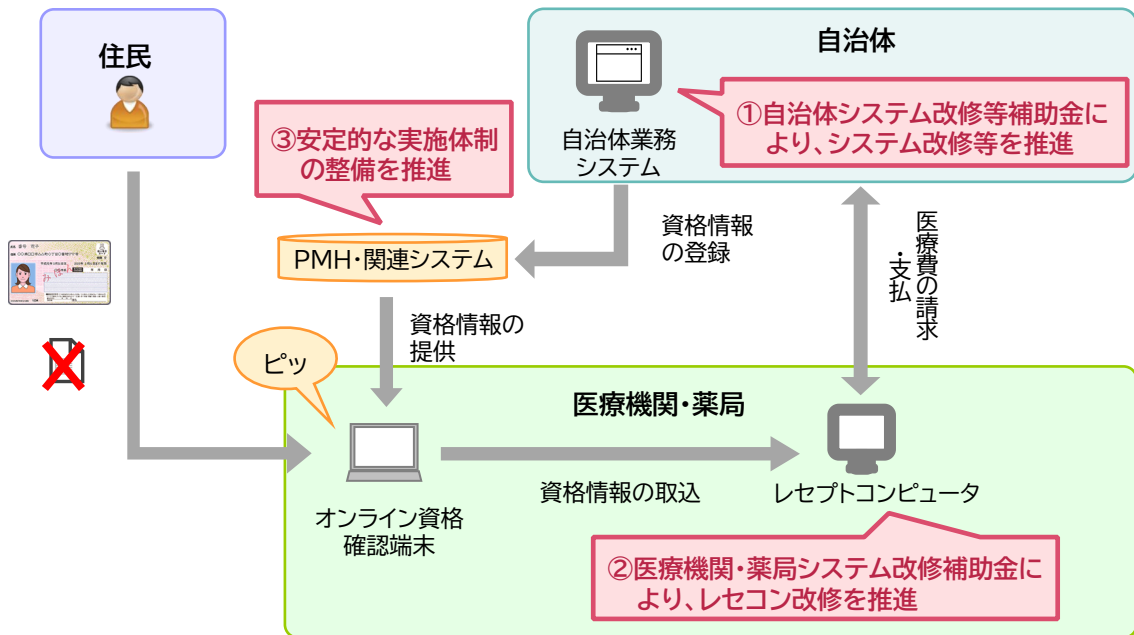
② 対策の柱との関係

Ⅰ			Ⅱ					Ⅲ	
1	2	3	1	2	3	4	5	1	2
							○		

③ 施策の概要

公費負担医療制度等(公費負担医療・地方単独医療費助成)のオンライン資格確認の令和8年度中の全国規模での導入に向けて、自治体システムの改修等、医療機関・薬局システムの改修、安定的な実施体制の整備を推進する。

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等



①自治体システム改修等補助金

- 補助対象：都道府県、市区町村 ※R7年補助と同様
- 1制度当たり基準額：500万円
- 補助率：1/2

②医療機関・薬局システム改修補助金

- 補助対象：医療機関、薬局
- 補助内容 ※支払基金において事務を実施

区分	補助内容
病院	28.3万円を上限に補助 ※事業費56.6万円を上限にその1/2を補助
診療所、薬局（大型チェーン薬局以外）	5.4万円を上限に補助 ※事業費7.3万円を上限にその3/4を補助
大型チェーン薬局	3.6万円を上限に補助 ※事業費7.3万円を上限にその1/2を補助

③安定的な実施体制の整備

- PMHシステムの運用・保守業務等のデジタル庁から支払基金への移管※の準備経費を補助(補助対象：支払基金)  
※令和9年度から移管予定
- 導入自治体拡大のための自治体等向けヘルプデスク業務委託

⑤ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

本施策により国民がマイナンバーカード1枚やスマートフォン1つで医療機関を受診し、公費負担医療等を受けることができる環境の整備に繋がり、質の高い効率的な医療の提供に向けた医療DXの推進を図ることができる。

## 1-4 導入した自治体の受給者と医療機関・薬局からの声

### 実際に医療費助成のオンライン資格確認を利用した方の声を紹介します

#### 自治体からの声

医療機関からの資格確認の  
照会が減った。

オン資の利用が拡大すれば  
紙の受給者証を発行  
しなくてもよくなるのでは。

マイナ保険証利用を勧める  
上でのメリットの  
ひとつとして考えている。

受給者情報の管理が楽になり、  
事務負担を削減できた。

#### 受給者からの声

子どもを抱えながら  
受付するので、  
手間が減ったのは助かる。

窓口での受給者証の掲示が  
なくなって時短になった。

紙の医療証を出す手間が  
省け、マイナンバーカード1枚  
で受診でき便利。小さい子供  
がいると少しの手間でも楽に  
なる事は本当に助かる。

1枚のカードで全てスムーズに  
確認が終了し楽だった。  
早く全ての病院で使える  
ようになってほしい。

#### 医療機関・薬局からの声

紙受給者証の不携帯・  
期限切れに関する事象が  
生じなくなる。  
また桁数の多い数字の  
入力ミスが無くなる。

公費の期限更新のタイミング  
で番号が変わっていることが  
あるので、そのタイミングで  
持参忘れの際に確認できるの  
は助かった。

受給者証をコピーする業務が  
なくなった。

受給者番号を即時に確認  
できるようになったことで、  
業務効率が向上し、  
入力ミスや番号違いによる  
レセプト返戻が減少した

入力間違いが減った。  
自動的に入力されるので、  
確認しやすくなった。

新規申請の患者が認定された  
ことが、紙の受給者証が到着  
するより早く確認することが  
でき、その時点から公費対応  
とすることができた。

患者さんとの確認事項での  
やり取りが無くなり、直ぐに  
調剤に取り掛かれるように  
なった。

認知機能低下患者の確認に  
おいて確実性を感じる。